

戦闘における航空機

4番目の兵器の登場?

AIRCRAFT
WAREFARE

THE ORIGIN OF THE AIRCRAFT



ランチェスター戦略の 知られていない事実

【マル秘メルマガ】より 9通目その2

d. 40歳で会社を売却し技術コンサルタントに転向

しかし自動車の製作には多額の資金が必要なことから資金の調達がうまくいかず、結局、英国国内の同業者であるディムラー会社に会社を売却しました。

40歳のときです。

(この会社はドイツの「ディムラー・ベンツ社」とは全く別で一切関係はありません。この会社も数年後にはジャガー社に吸収されています。)

そして本人は同社の技術コンサルタントになるとともに、ほどなくディムラー社の協力を得て「ランチェスター技術研究所」を創業しています。

それから5年間は自動車の技術改善に力を注いでいます。

会社を売却してから5年後の1914年7月28日に、第1次世界大戦が勃発しています。

これに刺激を受け、英国の技術雑誌に「戦闘における航空機」という題名で連載の記事を書くことにしました。

その1回目は同年の9月4日付で「斬新的な第4番目の武器としての航空機」というテーマの記事をかき、連載は12月号まで続いています。

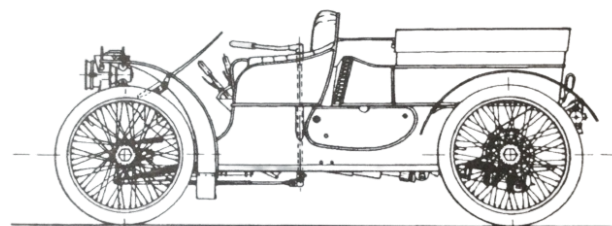
e. プロペラの研究は一切出てこない

以上が45歳までの経歴になります。

これで解るとおり、プロペラの研究をしたという記事は全く出てこないのです。もちろんそのあとラジオ会社を作って販売するなどしていますが、プロペラの研究をしたという記事は一切出てきません。

こうしたことから「ランチェスターは有名なプロペラの研究家であった」というのは、単なる憶測に過ぎなかったのです。

(完)



1903年製のランチェスターカー。12馬力。
私もこれに乗りました。

Lanchester

ランチェスター経営(株)



〒810-0012 福岡市中央区白金1-1-8 チュリス薬院301

TEL 092-535-3311 FAX 092-535-3200

メールアドレス customer@lanchest.co.jp HP <https://www.lanchest.com>